

経営のヒント228 物語は、耳を傾けることから生まれる

男性のみなさん

世界中の女性にモテモテなのは男性ではありません。
残念ながら。

欲張りな男が海辺で不思議なビンを拾いました。
それを開けてみると、妖精が飛び出し男に言いました。
「私をビンの中から救い出してくれてありがとう。
お礼に、3つの願いをかなえてあげましょう。」
男は迷わず「3億ドルが欲しい！」と言いました。
するとびっくり。
そこには3億ドルの札束が。

次に「カッコいいオープンカーが欲しい！」と言いました。
すると、たちまちカッコいいオープンカーが現れました。
そして味をしめた男は最後に

「世界中の女から愛されたい！」と言いました。

すると・・・彼は、おいしそうなチョコレートになりました。

チョコレートは、ひとを幸せにする。
チョコレートは、明治。

<経営のヒント>

皆さん、いかがですか？

ご存知、明治チョコレートの宣伝のキャッチコピーです。

物語(ストーリー)は、記憶に残りますね。
そして人生を感じさせます。

最近、私自身が強く感じることは、理性の時代から感性の時代へ変わった！
我々が欲しいと感じてから、次に理屈でメリットがあるかどうか判断する。
まずは、感情を刺激することがスタート。
その後で、理性でそれが自分に価値があるかどうか判断するんですね。
そして最後は、「決断」して、行動するには、もう一押しが必要なり。
カッコいい！
魅力的などなど・・・背中をポンと押してくれるといいね！